

日経 誌 済

兵庫県

2023年10月～12月

10/6 上半期 県内の倒産58%増 248件

帝国データバンク神戸支店によると、県内企業の23年上半期（4～9月）の倒産件数は、前年同期比58.0%増の248件、負債総額は同27.7倍の6624億7千万円であった。コロナ融資の返済本格化で件数が増え、大型倒産が金額を押し上げた。

10/11 マイクロソフト 神戸にAI拠点 国内初

日本マイクロソフト（MS）は人工知能（AI）の開発支援拠点「Microsoft AI Co-Innovation Lab」を神戸市に開設した。国内初の拠点で、世界では6拠点目となる。神戸市の現地駐在員が米MS本社を訪問して誘致活動を重ね、川崎重工工業、貿易センターと連携して実現した。

10/12 神戸市の人口 150万人割れ

神戸市は最新の推計人口（10月1日時点）が149万9887人になったと発表した。150万人を下回るのは2001年5月以来で22年ぶり。11年をピークに減少傾向が

続いており、少子高齢化による自然減が年々拡大している。

11/1 神戸市 22年度MICE参加者103.8万人

神戸市はMICE（国際会議・展示会など）の調査結果を発表した。2022年度の神戸市内における開催件数は2351件で、コロナ禍前（19年度）の6割弱、参加者数は103万8468人と同8割弱の水準まで回復した。

11/6 兵庫県 空飛ぶクルマ 暫定ポート完成

「空飛ぶクルマ」の暫定ポートが完成し、記念イベントが開催された。兵庫県が尼崎市臨海部の「フェニックス事業用地」で整備を進めていたもので、2025年大阪・関西万博の際、会場との2地点間でデモフライトを行うことを計画している。

11/10 25年「世界港湾会議」神戸市で開催

神戸市は「2025年世界港湾会議」の開催都市に選ばれたことを発表した。国際港湾協会（IAPH）が主催し、毎年、世界の主要な港湾管理者等が集まる会議で、2025年の会議は秋ごろに3日間の日程で開催される。国内では1967年の東京81年の名古屋に次いで3都市目の開催となる。

11/14 スパコン富岳8期連続世界一

理化学研究所はスーパーコンピュータ「富岳」が、計算性能に関するランキングの2

部門で8期連続世界一になったと発表した。ランキングは年2回発表され、今回は産業利用等の「HPCG」と大規模グラフ解析に関する「Graph500」の2部門で1位を守った。

12/11 県内企業の景気判断 8四半期ぶり「上昇超

神戸財務事務所の県内法人企業景気予調査によると、10～12月期の全産業の景気判断指数（BSI）はプラス2.3と前期比4.1ポイント改善し、8四半期ぶりに「上昇」超となった。食料品やパルプ・紙などの製造業が好調で全体を押し上げた。

12/11 姫路城 世界遺産登録から30年

姫路城は世界遺産に登録されてから30年を迎えた。姫路市では登録30周年を祝う記念事業を一昨年12月から今年3月にかけて、全市を挙げ展開中である。入城者は順調に増えており、2022年度に95万7355人とコロナ禍前（19年度）の6割まで回復、23年度はすでに11月中旬に100万人を超えつつある。

12/13 日銀短観 前期比7ポイント改善

日銀神戸支店の県内短観では、業況判断指数（DI）が全産業でプラス17と9月の前回調査から7ポイント改善した。4四半期連続の改善で、コロナ禍前の2018年12月の水準に回復した。業種別では製造業がプラス13（前期比7ポイント改善）、非製造業がプラス21（同6ポイント改善）となった。